



図書館サポーターズだより

明日に吹く風



やわらかい春の日差しがうれしい季節になってきましたね。出会いと別れの季節でもあり、環境がガラリと変わる時期です。そんな忙しい時ですが、少しの時間、本を手にとってゆっくりしてみませんか？今月も図書館サポーターズがおすすめの一冊を紹介します！

～図書館サポーター推薦図書～

『ディズニーおもてなしの神様が教えてくれたこと』

鎌田 洋 著(689.5 || Ka31)



皆さんは、東京ディズニーリゾートの顧客満足度が高いのはなぜか知っていますか？それは、アトラクションを動かしてくれるキャスト、清掃しているキャスト、駐車場で誘導してくれるキャスト、それぞれが「おもてなしマインド」を持っているからです。おもてなしとは人から見返りを求めない気配りをするを言います。私自身、人に気づいてもらえない優しさを持ち、行動することに何の意味があるの？と思いました。しかし、彼らがこのマインドを持っているから、私たちはパークを訪れた時に楽しめているのだとこの本を読んで知ることが出来ました。人に気づいてもらえなくてもおもてなしマインドを持ち、人を笑顔にできればそれは一つの幸せとなります。この本を読んだ皆さんが周りの人を心地よくしたいと思うきっかけになりますように…。(M. H)

『女の子の謎を解く』

三宅 香帆 著 (902.09 || Mi76)



「なんで姉妹キャラクターは姉が落ち着いたいて妹が元気なことが多いの？」「なぜジブリには女の子が主人公の物語が多いの？」この本は『アナと雪の女王』や『逃げるは恥だが役に立つ』など、みんなが知っている人気作品からヒロインの謎を読み解く一冊です。例えば、姉妹キャラクターへの疑問に対して、「物語における姉妹は、時に母娘のメタファーとして存在する」と考察されています。また、新たな視点から物語を観ることで、一度読んだ時には気づかなかった作品の面白さを感じられます。書評というと難しく感じてしまうかもしれませんが、簡単な言葉で書かれているので友達の話を書くような感覚で読むことができます。ぜひ、読んでみてください！(C. M)



『あなたを閉じこめる』

「ずるい言葉」

森山 至貴 著 (361.454 || Mo73)



皆さんは他人から言われた言葉でモヤモヤしたことはありませんか？

この本は、日常会話の中にあるモヤモヤやイラっとする言葉に対して、著者がやんわりとハッキリと言い返したい人に向けて処方箋を書いています。大人よりも立場が弱い子どもたちに向けてのヒントがあり、それは大学生の私たちでも自分自身がスジの通らない理屈を日常的に使っていないかをチェックするのに有効です。また、それぞれのシーンに対して、解説や抜け出す考え、関連用語も記されています。

ずるい言葉、そんな言葉にとらわれなくて良いと背中を押してくれる本です。良い人間関係を築いていくための参考書として読んでみてはいかがでしょうか。(K. Y)